



Rotary
第2730地区



宮崎中央ロータリークラブ
ROTARY CLUB of MIYAZAKI-CHUO

週報

今月のテーマ ロータリー財団月間

第1433回例会

2016年6月9日 Vol.30/No.44

■本日の例会

第1434回 平成28年6月16日(木)

- 会長・幹事・各委員会報告
- 年間総括プログラム…各委員会
小委員会

■前回の例会

第1433回 平成28年6月9日(木)

- 会長・幹事・各委員会報告
- 年間総括プログラム…各委員会
五大奉仕、小委員会

【出席率状況報告】

- ・会員数 56名
- ・出席者 35名
- ・欠席者 21名
- ・出席率 62.50%
- ・5/300補正出席率 80.38%

■会長挨拶

会長 藤原昭公



皆さん、こんにちは。先週は、東京出張でお休みさせて頂きました。皆さんにはご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。

今年度も残すところあと3週間となりました。例会プログラムは今年度の総括を中心に組まれています。良かったところ、反省すべきところをつまびらかにして、次年度に申し送り、香川年度のクラブ運営に十分活かして頂きたいと思っております。

さて、東京では舩添知事の政治資金等の運用について色々取りざたされていますが、知事は、厳正な第三者の目で精査して報告を行うとして今週の月曜日に第三者である2人の弁護士がマスメディアを前に報告をしました。この弁護士は違法性はないが、一部不適切な支出があったとしています。この「違法ではないが不適切」というフレーズが大変気にかかります。一体何のための調査だったのでしょうか。

この一連の報道を見ていて過日、テレビで報道された「世界で最も貧しい大統領」といわれたホセ・ムヒカ元ウルグアイ大統領のことを思い出しました。ご存知の方もおられると思いますが、この元大統領は非常につまましい生活をおくっています。在任中も大統領公邸に住まず、郊外の農場に夫人と二人暮らしをしていました。大統領時代の月収は約97万円でした。貧困国であるウルグアイの平均月収は約8万円ですから、大変な高給です。しかし、元大統領は一月10万円で生活し、過去5年間で慈善事業に55万ドル、日本円で約6千万円を寄付しました。車は友人からの贈り物で87年式のフォルクスワーゲンビートルで時価18万円のいわゆるボンコツです。有名になってこの車を1億円で買いたいという人が現れましたが、彼は、売っ

たらプレゼントしてくれた友人に申し訳ないと言ってこの話を断りました。大統領専用機も持たないため国際会議にはエコノミークラスで行くか他の国の大統領に便乗させてもらうことが多かったといえます。「世界一貧しい大統領」と呼ばれることについて「自分は貧乏とは思っていない。本当に貧しい人は贅沢な暮らしを保つためだけに、働く人だ」といい、「大統領とは、機能を果たすために選出された、高位の当局者です。大統領は王様でもなければ、神でもありません。」とも言っています。ウルグアイで大いに愛された大統領でした。対照的に「政治家はトップリーダーだ」とおっしゃった舩添さん、だから飛行機はファーストクラスで、ホテルはスイートルームでなければ恥ずかしいのでしょうか。変な理屈ですよ。日本にもホセ・ムヒカ元大統領のようなトップリーダーが存在してほしいものです。

■幹事報告

幹事 田中 寿



○橋口会員から退会届が出ております。

今期で関MRTミックの取締役会長を退任されるとの事で退会を申し出ておられますが、後任が決まり次第、入会者を出して頂けるとの事です。5月26日の理事会で承認を受理・了承致しました。

■宮崎中央ロータリークラブ入会候補者ご紹介のお願い

次期幹事 江藤敏治



さて、会員の皆様もご存じのとおり、クラブ活性化と円滑なクラブ運営のためには新会員の

勧誘による会員数の増加が必須となっています。今年のRIテーマは「Rotary serving humanity」

です。そして、2730地区大重ガバナーは「ロータリーを楽しもう」と掲げておられます。ロータリークラブの特徴である異業種の職業人の集いにより、それぞれの経験や考えを親睦の中で発信しながらお互いが成長していく素晴らしい機会と考えております。その意味において新会員勧誘は、職業委員会・会員増強委員会のみならず、職業委員会・会員増強委員会のみならず、会員1人ひとりの責務であるとも考えられます。以上のことより、今回、入会候補者リストを作成し、新会員勧誘の一助とすることとしました。少なくともお一人以上の入会候補者を6月29日の年度末家族懇親会までに、ご紹介いただきますようによろしく願いいたします。

年間総括

■出席委員会

委員長 草田哲也



当初の目標として下記の項目を設定しました。①修正出席率80%以上。②例会の席位置に様々なテーマを取り入れ会員の親睦を深める。③委員会のメンバー全員が持ち回りで発表するなど委員全体の参加意識を高める。

総括としては①メイクアップの推進を図り、80%以上の回数も増加したのではと推察しています。また、100%を2回達成する等出席率向上を目指した取り組みができました。②定期的なテーマ(委員会、誕生日、抽選、あいうえお順)を設定し、全会員の親睦を深めることができました。③委員長以外の全メンバーにも発表していただき全員参加を図ることができました。一年間、ご協力いただきまして誠にありがとうございました！

■社会奉仕委員会

委員長 篠原英介



毎年恒例行事の2つの事業を無事実施できました。

宮日美展は、受賞者の日南市の高橋美和子様、スケジュール調整も上手くいき、また、ご自身で例会場までお越しいただきましたので大変助かりました。ご本人様も受賞をととても喜んでいらっしゃったのが印象的でした。ひむかかかる事業は、協会の例会に2回参加いたしました。今年度の大会終了後に開催された例会では、今後、宮崎公立大学の地域貢献事業として力を入れていきたいとの事です。私

たちのクラブは、プレスリリースのサポート等、協会の目指す方向に沿う形を模索していく必要があると考えています。そのような段階に来たのではないのでしょうか？また、かるた競技会の様子をロータリーの友に投稿し、掲載されました。

■ロータリー財団委員会 委員長 鳥山 浩



①年次寄付 クラブ目標を従来通り、1人100ドルとし、皆さんから寄付を仰ぐとして、毎月積立方式(封筒を用意する)を採用した。結果、数人が対応していただいた。②クラブ年次寄付は、前年度実績維持するとして、事務局が毎年対応していただいている。③ベネファクター目標2名。過去・現在、会長・幹事経験者をお願いした結果、三輪元会長・篠原会長が賛同していただいた。④財団認証ポイントを利用して、新入会員及び未取得者にクラブ保有認証700ポイントをプレゼントし、残り300ドルを寄付することにより、ポールハリス・フェローを取得できる。これは、基本であるが、今年度クラブ創立30周年を記念して、一人1万円を出していただき、不足分をクラブの認証ポイントを利用して、ポールハリス・フェロー及びマルチプル・ポールハリス・フェローを全員が取得した。これは画期的なことで野中ガバナーから賞賛された。⑤財団は、お金を集めるだけでなく、使う方法を検討しなければ、本来の財団としての意味はないと思われる。そのために、クラブ内に奉仕プロジェクトチームを編成し、地区補助金及びグローバル補助金をどのようにして活用するかを検討しなければならない。次年度以降の理事会をお願いいたします。⑥ロータリー財団について、3回程例会で講話をさせていただいた。

出席委員会報告 委員長 草田哲也

◆5/26メイクアップ者名(敬称略)

江島 寛、江藤敏治、押川絃一郎
片木重光、川越孝幸、草田哲也
秦喜八郎、松田くるみ、湯浅敏幸、山田知樹

◆ピジター

小田原義征 様
(宮崎西RC)



発行/宮崎中央ロータリークラブ

●事務局 〒880-0804 宮崎市宮田町10-25 宮田町ビル TEL.0985-22-6767 FAX.0985-22-0288
●例会場 〒880-8545 宮崎市山崎町浜山 シーガイアコンベンションセンター TEL.0985-21-1155(毎週木曜 12:30~13:30)
会長/藤原昭公 副会長/香川美穂子 幹事/田中 寿
クラブ会報委員会/委員長:新地康宏 副委員長:江口徹一 委員:鈴木克信、長友久人、川越孝幸、山田知樹、生駒俊明